

亜酸化銅増殖発熱現象

火災概要

一般住宅の居室内で家人が壁付コンセントに延長コードとハロゲンヒーターを接続し使っていたところ、約3時間後に焦げくさい臭いに気付き、壁付コンセントから炎が出ているのを発見しています。消火作業はされていませんが、消防隊が到着した時には既に鎮火していた火災です。

原因概要

家人の話では、火が出た壁付コンセント付近の壁は、雨漏りで湿気が多く日頃は使用していませんでした。

壁付コンセントを分解すると内部の金属部品が錆びており、配線と端子の接続部が断線した箇所に亜酸化銅が認められました。以上のことから、壁付コンセントに延長コードとハロゲンヒーターを接続し使用したことで、コンセント内の錆びた端子と配線の接続部が発熱し、高温となった銅製配線が酸化し亜酸化銅が発生、亜酸化銅増殖発熱現象（※）によって周囲の配線被覆（合成樹脂製）に着火した火災となったものです。

※亜酸化銅増殖発熱現象とは：接触不良等の原因で銅製部品が酸化し、亜酸化銅が生成すると数アンペアの電流でも高熱を発生させる為、周囲の銅が溶けてさらに亜酸化銅が増殖する現象。



コンセントが原因の火災をあなたは知っていますか？

古いコンセントは内部が劣化している可能性があります。コンセントの中は見えない為、内部で異常が発生しても早期発見が難しくこのような火災に発展する恐れがあります。

コンセントによる火災を防ぐには・・・

1. 電気製品を使用中に異臭を感じれば、使用を停止しましょう。
1. プラグやコンセント等に水滴、湿気、ほこり等がかからないようにしましょう。
1. 長年使用したコンセントは点検、交換しましょう。

・・・火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。・・・